

2025 第3回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

2学期の後半に実施するテストということで、これまでの学習の成果が出やすい問題となっています。今後の英語学習の基本となる文法内容が多く出題されているので、この時期にしっかりと理解しておきたいところです。

1 長文読解問題

問1の適語選択（組み合わせ）は、町には散髪をする店が1軒もない→人々は長い髪をしている→風の強い日には大きな帽子が必要だ、の内容の流れがわかれば、容易に解答できるかと思います。**問2**の和訳では、下線部(2)は天候を表す文に用いる主語 it と動詞 blow(s)の訳がポイントです。下線部(6)は pick up, put～into の訳と plastic bag(s)の意味を知っているかどうかポイントになります。**問4**の語（句）整序では、下線部(4)は wake up after～と look out of を and でつなげて並べ替えます。下線部(7)は put(s)～over...「…(の上)に～をかぶせる[乗せる]」の順に並べ替えます。**問5**の内容説明は下線部(5)の直前の Paul says goodbye～in the air.の内容を指定された字数の日本語にまとめます。

2 英文読解問題

日本人の女子生徒と外国人の男子生徒による e メール文のやり取りで、期末テストの日程や冬休みの予定などを話題にしています。**問1**の英問英答（適語補充）は、e メール文の日付や曜日などに着目し、空所に適する語を答えます。5題の中では、2と4がやや難問です。2は動詞 run が答えになりますが、run には「走る」の他に、「経営する」という意味があります。知らなかった人はこの機会に覚えておくといよいでしょう。4はeメール文の日付と曜日から、女子生徒の学校の期末テストの日程が12月1日から4日であることを読み取ります。そして、疑問文の動詞 end「終わる」から解答を判断します。問2の語（句）整序では、下線部(1)は頻度の副詞 sometimes「時々」の位置と、<help 人 with 仕事>「人の仕事を手伝う」の語順がポイントになります。下線部(2)は、<visit 場所>「場所を訪れる」（前置詞 to, in など不要）、listen to ～「～を聴く」がポイントになります。

3 連立完成問題

1 は主格の疑問詞 Who「だれが」で始まる一般動詞の文を、所有格の疑問詞 Whose「だれの」で始まる be 動詞の文に言い換える基本問題です。3 は father and mother を 1 語の parents「両親」に言い換える点と、所有格の代名詞を含む「私たちの数学の先生」を目的格の代名詞を含む「私たちに数学を教えている」に言い換える点がポイントになります。4, 5 はやや難問で、4 は「兄弟姉妹が一人もいない」から、an only child[kid]「一人っ子」という語句を思い出すことができるかがポイントです。5 は「決して学校に遅れて来ない」の言い換えとして、be in time for「～に間に合う」を用いた「いつも学校に間に合う」という表現にします。

4 対話文完成問題

1・3 は語句の言い換えがポイントになります。1 は uncle's daughter「おじの娘」を 1 語の cousin「いとこ」に言い換え、「彼女は～です」の部分は she's と短縮形にすることがポイントです。3 は動詞 like「～が好きだ」で答えているので、疑問文は形容詞 favorite「大好きな、お気に入りの」を用いた文になります。2 は答えの文の that black one[bike]「あの黒い自転車」から、「どの自転車」と疑問詞 Which で始まる疑問文になります。4 は難問で、weigh「～の重さがある」が一般動詞であることを対話文から判断しなければなりません。5 は September「9月」という返答から、「1年のうちの9番目の月」と判断しますが、序数 ninth を正しいつづりで書くこともポイントになります。

5 書き換え問題

2 は返答が one brother「一人の兄[弟]」ですが、疑問文は<How many 複数名詞>になることがポイントです。3 は What language(s)「何の言語」で始まる疑問文になりますが、language を正しいスペルで書けるかがポイントになります。4・5 は疑問詞の問題で、4 は時期をたずねる疑問詞 When「いつ」、5 は距離をたずねる疑問詞 How far「どのくらいの距離」の知識を問う問題です。

6 整序問題

[]内の語を並べ替えて日本語の意味を表す英文を作る問題です。1 は確実にできて欲しい問題です。2 は天気をたずねる疑問文ですが、文頭に What があるので、前置詞 like「～のような」を含む文を作ります。What の後は is the weather like の語順にすることが大事なポイントです。3 はまず、頻度の副詞 always「いつも」を be 動詞 is の直後に置くことがポイントです。「～で

忙しい」は、<be 動詞+ busy with>となり、[]内の最後は weekdays「平日」が後に続くように、前置詞の on がきます。5は take a walk「散歩をする」の並べ替えが重要です。often「よく、しばしば」は always などと同様に頻度の副詞なので、一般動詞 take の直前に置きます。「川沿いを[川に沿って]」は前置詞 along を用いた along the river となり、[]内の最後は my dog「私の犬」が後に続くように、前置詞の with 「～と一緒に」がきます。

7 語い・発音問題

(A)の語いでは、5が難問です。nephew「甥」、niece「姪」の意味も重要ですが、語の定義（甥は兄弟姉妹の息子、姪は兄弟姉妹の娘）もしっかり覚えておきましょう。3は所有代名詞 theirs「彼らのもの、それらのもの」が正解ですが、正しいつづりで書けるかがポイントになります。4は単複同形の名詞 sheep「ヒツジ」が正解ですが、単複同形の名詞は water などの不可算名詞とは用法が異なるので、区別して覚えましょう。(B)の発音では、3が間違えやすいと思います。イの women とエの evening の下線部の発音はよく出題されるので、正確な発音を覚えておきましょう。

2025 第3回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

これまでに学んだ内容を考慮し、方程式や比例・反比例を中心に出题しています。これらは、2年生以降でも頻繁に用いる重要な分野です。難しい問題ばかりではなく、基本的な問題も出題し、平均点が低くなりすぎないように、また、比較的幅広い学力層の受験生が実力を試せるように配慮しています。

1 計算問題（数の計算、文字式の計算、1次方程式）

計算問題です。(2)や(3)のように分数を係数とする式の値や方程式において、通分をするときにミスがないように気をつけてください。(4)は、方程式の解である a の式ごと、 x に代入することになります。 x と a を混同しないようにしましょう。

2 小問集合（平均の速さ、比例と反比例、数え上げ、1次方程式の利用）

(3)では、実際に手を動かして、どのような図形ができるかを試すことが大事です。(4)では、文章からわかることを1つひとつ式で表していきましょう。

3 1次方程式の利用（利益）

方程式の文章題で、商品の仕入れと売り上げを題材にしています。設定の説明が長くなりますが、例示（Aチョコ）も活用して理解するようにしましょう。また、問題を解くだけでなく、日常生活への数学の活用のしかた、さらには、現実の事象（本問では商品の値上げ）について、「なぜそうなるのか」といった仕組みの理解にもつなげてみましょう。

4 比例と反比例

比例・反比例のグラフについての問題です。座標軸に平行な線分の長さが、両端の座標の差で求められることを用いましょう。(3)は難問です。2つの三角形の面積の差が、 x 軸より下側の台形の面積に等しくなることがカギになります。方程式を利用して、未知数を求めましょう

5 1次方程式の利用（約束記号）

約束記号がふくまれる方程式の問題です。約束記号は、問題文の中にその計算方法が定められていますので、これにしたがって丁寧に計算しましょう。また、いくつかの数を用いて、実験してみてもよいでしょう。本問においても、数の正負に着目すると、規則が見つかるはずです。

6 1 次方程式の利用（割合）

割合を題材とした方程式の問題です。2 つのスパイスと 2 つの成分が登場しますので、情報を整理しておきましょう。食塩水と同様に考えて、各成分の重さに着目した式をつくるとよいでしょう。

2025 第3回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

一年生の二学期後半という時期に合わせて、漢字や文法といった知識に関する問題と、文章読解や短歌・俳句に関する問題といった幅広い内容について出題しました。これらの問題を解くことで、総合的な国語力が分かるようになっていきます。

㊦ 漢字の読み書き

(1)の「索」と(2)の「緩」が正しく書けること、(3)と(4)の同訓異字を使い分けられること、(8)の読み方の区別ができることがポイントになります。紛らわしい漢字は正確な形を、同音同訓異字は正確な使い分けを、普段から意識して身に付けましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 川北義則「余裕 ゆとりがないと判断が鈍る」

生活に関わる経済評論家である筆者が、人生において大切なものについて書いた書物から、「余裕」・「ゆとり」をテーマにした文章を採り上げました。テストで出題された文章ではありますが、内容についてはこれからの生活の仕方のヒントにしてもらえればよいかと思います。記述問題が二題ありますが、**問一**も**問六**も三つのポイントを押さえて、それらを「～たり、～たり、～たり」のような並列表現で書くことが重要です。因果関係のような形では正解になりません。注意して解答を書きましょう。

㊦ 小説文の読解…………… 高野秀行「天才でないあなたへ」

様々な人々が旅の価値について書いた随筆集から、世界各地の辺境を旅するノンフィクション作家である筆者が自分の大学時代の経験を語った文章を採り上げました。やはりテストを離れたところで自分の将来を考える際の参考にしてもらえたらよろしいかと思います。**問一**の記述問題で、文章全体で筆者が言いたいことを問うていますので、これを正解できるかどうかで文章をしっかり理解できているかどうか分かります。ポイントは「様々な経験を通して外国を知る」ことです。そのほかにも、インドの情景や現地の人々と筆者の関わりの様子を頭の中に思い浮かべながら読み進めることができるかで、内容理解ができていくことになります。

四 短歌・俳句の鑑賞

各作品の主題と共に、「句切れ」・「切れ字」のような短歌・俳句特有の知識事項、更には季語だけに頼らない季節の判別や表現技法の理解、加えて文学史まで、いろいろな内容を出題しました。知らなかった知識事項に関してはしっかりと復習して、次回以降は正解できるようにしてください。

五 文法

文の成分と呼ばれる文節の働きについての基本的な問題です。文節の働きを正しく理解することは、更に細かい品詞分類の理解にもつながっていきますので、間違えた問題は解説を読んで正しく覚えるようにしましょう。